

第2回 東京理科大学界面科学研究部門 産学連携セミナー

界面科学は、界面の物性、ならびに界面において生じる様々現象を解析することを主眼とした基礎研究を基盤としていますが、そこで得られた結果が、化粧品・医薬品・食品・色材・トライボロジー等の様々な産業分野における開発研究にダイレクトに結びつきやすいという特長を有しています。本セミナーでは、界面科学研究部門メンバーならびに企業研究者による先端開発研究を紹介していただき、効果的な産学連携の場とすることを目的とします。バイオ界面・化粧品・トライボロジー・レオロジーと各分野の先端の研究に触れられる機会ですので、是非ご聴講ください。

日時: 2022年1月13日(木) 13時30分～16時50分

実施形態: Zoomによるオンライン開催 (無料・以下のサイトから[事前登録](https://tus-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tJwscOGqqTgvHdeEo4gjJ7ydDxV1Pn2vhrRl)をお願いします)

<https://tus-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tJwscOGqqTgvHdeEo4gjJ7ydDxV1Pn2vhrRl>

プログラム

13:30 開会挨拶 界面科学研究部門・部門長 酒井 秀樹

13:40-14:20

「感温性コアコロナ型微粒子の設計とバイオ分野への展開」

先進工学部マテリアル創成工学科

菊池 明彦 先生

14:20-15:00

「分子集合体の化粧品への応用と肌効果について」

株式会社コーセー スキンケア製品研究室

池田 裕政 先生

休憩

15:15-15:55

「トライボロジーにおける界面科学の重要性」

工学部機械工学科

佐々木 信也 先生

15:55-16:35

「せん断流動下における化粧品などの乳化分散系基剤の内部構造の変化」

株式会社アントンパール・ジャパン テクニカルアドバイザー

山縣 義文 先生

16:40 閉会挨拶